

愛知県理事竹内睦治さんが半田市から功労賞を受賞

今年も海の日に実施した「第 10 回全国一斉 EM 団子・EM 活性液投入」の報告が、全国各地からたくさん届いています。ご報告をいただきましたみなさまに、この誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、たくさんお送りいただきました報告書の中で、昨年は地元出身の環境副大臣（当時）が海の日 EM 団子投げのイベントに参加し、そのことを SNS で発信したことで物議をかもした愛知県半田市からの報告をご紹介します。

半田市では、当会愛知県理事であり「やなベエクラブ」を主宰する竹内睦治さん主導の下、地元ボランティアの方や半田中学及び安城学園高校の生徒が、今年も半田運河にて海の日 EM 団子投げを実施いたしました。半田中学と安城学園高校の生徒は 5 月下旬から 1,500 個の EM 団子作りを始め、この日に備えました。

7 月 15 日の投入日はあいにくの雨でしたが、両校合わせて約 50 名の生徒たちは運河に向かって元気に EM 団子を投げ入れました。生徒からは「団子投げは楽しいし、その結果、運河がきれいになるのでこれからもずっと続けたいです。来年もぜひ実施してください。」との感想が聞かれました。

昨年は、当時の環境副大臣が EM 団子投入イベントに参加したことを SNS で発信したことで賛否両論が巻き起こり、そのことが新聞にも記事掲載されました。更に環境省内での記者会見でも取り上げられ、副大臣自身がその弁明に苦しまれたことは記憶に新しいです。しかし、今年は地元有力新聞に大変好意的に、大きな記事として取り上げられました。

海の日イベントを主宰した竹内理事は、15 年以上 EM を活用して地域の環境保全活動や学校のプール清掃に携ってこられました。長年の業績が認められ、10 月には半田市制 82 年記念の功労賞を受賞することが決定しました。

今後も竹内理事の強いリーダーシップが地域の環境保全に貢献し、あとから来る者のためにその精神が若者の心に醸成されることを期待したいと思います。

【取材：伊藤由規】

新美南吉が誘導してくれた？

半田中と安城学園高生徒が EM ダンゴ投入

7 月 15 日、半田中学校の有志約 35 名と安城学園高校エコボランティア部 12 名が、半田運河に EM ダンゴ 1500 個を投入しました。EM ダンゴとは、海や川などを浄化する微生物入りの球で、両校の生徒は 5 月 25 日にこのダンゴ作りを行いました。地域でボランティア活動を行う半田中生徒会が、やなベエクラブに協力の申し出をしたのがきっかけでこの活動がスタート。愛地球博以前からやなベエクラブと交流する安城学園高校エコボランティア部にも声がかけられ合同での活動となりました。

電車で半田を訪れた安城学園高の生徒は「安城では EM ダンゴを作っているところがありません。EM 菌と泥を混ぜるダンゴ作りは手が汚れたけど、表面が白く固まったダンゴを運河へ投げるのは楽しかった」と話していました。半田中 3 年の長坂洋志さんは「友達とワイワイ投げるのは楽しいし、その結果水がきれいになって半田の環境が改善されるだから、今後も続けていって欲しい」と話し、2 年の安藤幸太朗さんは「ダンゴ作りでは泥にビックリしたけど、先輩と話しながら作業できたし、水をきれいにできるこの活動はぜひ続けていきたい」と話していました。やなベエクラブの竹内さんは「半田と安城の生徒が一緒に活動できたのは、南吉が導いてくれたからかも」と、生徒たちが投げる姿を見守っていました。



My Town 半田・阿久比（2019 年 8 月 20 日）



中日新聞（2019 年 7 月 17 日）